

新しいバルテノン多摩の
ココが変わる!

バルテノン多摩改修工事中の館内に入浴!

2月某日、バルテノン多摩共同事業体のスタッフ3人で改修工事中の館内を見学させていただきました!



ホールを奥側の出入口から入ると、一部の天井の音がなくなり、広々とした空間が広がっています! 特別演劇室や歴史ホールがリニューアルされたのは、まだことごとく大改修中になっています! リニューアル後は、あかかんミュージアムと、展示以外の利用もできる期間的なスペースに生まれ変わるのだと、どんな使い方ができるか楽しみです。



裏にまわると、大ホール入口の壁がなくなっていて、裏にはコミュニティホールが見えます。その近くには、楽屋とロビーをつなぐエスケーパが設置されています。



大ホール裏側に入ると、楽屋が取り外され、スチュープまで見通せるような明るく開放的な空間が広がっています!

足場が
ごんごん!

新しくなる大ホールに、期待が溢れそうです! どんと上がりになるのが楽しみです!

- 客席の幅と、前の座席との間が広くなり、今までよりゆったりと鑑賞できるようになります。
- 客席の配置は、前の座席の方と重なることなく工夫され、前方が見やすくなります。
- ホール中ほどより後方に向け、やや勾配がつくことで視角がより見やすくなります。
- ホール後方の親子鑑賞室を、多目的ルームとしてリニューアル。室内を広くし、スロープでも入れられるようになります。音響設備もスピーカーの増設により、以前より聴感が増すようになります。
- 楽屋手前を大幅に増やします。ロビーにエレベーターが設置され、中絶層までバリアフリーでアクセスできるようになります。
- これまで手動で行っていた吊物機を電動化することで、今までではできなかった舞台上での表演演出など、使い方の幅が広がります。
- 今までコンプリートだった大ホールの壁は、温かみのあるウッド仕上げになり、天井も作り直し、大きく印象が変わります。

ここが新しくなる!
大ホール



事業報告

市民舞台芸術学校発表会



昨年9月から12月まで行った「市民舞台芸術学校」全4講座の卒業発表会も、昨年12月多摩美術大学美術館で行いました。会場の下下階で「舞台スクリーン」の参加者が照明、舞台衣装、「舞台衣装の基礎」の参加者がそれぞれ選んだダンスを披露しました。2階では、「子ども映像表現講座」の参加者が制作した作品の上映会が行われ、「レインダンス講座」の参加者はお祭りがお披露出し、場内のご案内をしました。発表会対象のため、発表会は関係者以外の方はご来場できず、観覧された方からは「子供たちがそれぞれに自分らしい感性と個性を生かし、のがのびた活動した成果が表れた作品が多かった。」「出演された方々が、驚かす程に上手なパフォーマンスを披露していた」と、とても大層で必要なことだと高く褒められました。15日の感想をいただきました。また、講師の参加者からは「同じ目的を持った色々な世代の方とすべて、とても新鮮な中で良かった。」「技術の講師の先生や発表会が盛り込まれたのがとても良かった。15日の感想がありました。講師の様子と発表会をまとめたダイジェスト映像も、バルテノン多摩公式YouTubeチャンネルにて配信しておりますので、ぜひご覧ください。」



共同事業体

NYシアターエデュケーションプログラムX バルテノン多摩



1月9日(土)から14日(金)にかけて、バルテノン多摩では初のZoomを使ったオンライン企画「NYシアターエデュケーションXバルテノン多摩」を実施しました。このコロナ禍、NYでは早くも封鎖ではないオンライン形式のワークショップやパフォーマンスの認知が浸透してきました。その影響を受けた方々や、アパレル会社のスタッフやインフルエンサーと各専門各業の方と連携を図り、参加者はワークショップの参加者として、そしてパフォーマンスとして様々な機会から学ぶ機会と取りました。今後も引き続き、ワークショップを行う予定です。
シアターエデュケーションとは→演劇ワークショップを使った表現活動やパフォーマンス・トレーニングから表現力を高める演劇教育。

バルテノン多摩改修工事に携わっている方にお話を聞きました!



設計監理を担当されている
アスカ・東知・森村設計共同企業体から、
有限会社ナスカー建築士事務所
の代表取締役 森村 康平さん(左)、
森野 実司さん(右)、樋口 孝史さん(中)

「今回の工事で、具体的にどのような仕事をされているのでしょうか?」

樋口 僕らは設計から関わっているのですが、その時から多摩館専門家の意向や工夫が随分とあがってきました。それらの思い描いたことと実務とで乖差するため監理をチェックし、現場も知らないかのような確認を日々行っています。

「重要視していることは何ですか?」

森野 現場がどんどん進んでいく中で想定外のことも起きるので、限られた時間の中で解決していくのが大変ですね。色々な専門分野があり、工事業者が様々な方々で集まっているので、それがメインの仕事ですね。

「今回の改修工事でバルテノン多摩が大きく変わることは何ですか?」

樋口 できる限り既存の壁を壊らなくて、出来るだけこらえるかかすやくオープン空間、居心地の良い空間という方向性のものを目標として設計

したので、様々な出会いが生まれるような空間にできてきたと思います。

「リニューアルオープン後に、来館される方へのメッセージをお願いします!」

樋口 設計した時の理想としては、今までなかったような方々への積極的に来館して欲しいです。それとどのくらいコンテナーをしたら、大改修が終わってもらうと、設計で想定していた理想の理想の方があって、新たな出会いが生まれると思っています。

森野 僕らは、どこまでも一緒にいるように設計しているのですが、インスパイアされています。是非、たくさんの方にに見に来ていただいで、楽しんでいただければと思います。

バルテノン多摩は
リニューアル工事で
大げんか!



バルテノン多摩 リニューアルオープンに伴う 観覧申込スケジュール(予定)について

- 【大ホール、小ホール、オープンスタジオ】
- 大ホール、小ホール：2021年6月1日(日)受付開始予定(2022年7月9日受付)
- オープンスタジオ：2022年1月1日(日)受付開始予定(2023年7月9日受付)

【演劇室、練習室、ギャラリー等】

● 2021年10月1日(日)受付開始予定(2022年3月9日受付)

※詳細は「バルテノン多摩」のホームページをご覧ください。



多摩市アーティスト支援プロジェクト アート@多摩



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で文化・芸術活動の自粛を余儀なくされた、多摩市内に在る自主活動拠点を多摩市からアーティストを支援するプロジェクト「アート@多摩」がスタートしました。今秋の社会貢献活動に「展覧会」をテーマとし、社会全体の芸術活動を支援する「展覧会」を企画し、10月24日(土)から26日(日)の3日間で、大ホールと演劇室が利用でき、改めて「つながり」や「協働」の大切さを再認識できるような企画を立案し、いろいろなジャンルの22名のアーティストの制作作品が展示されました! バルテノン多摩公式YouTubeチャンネルにて配信中です。ぜひご覧ください!

